

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
病理細胞検査学Ⅱ	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	星野 ちなみ ※
授 業 概 要					
<p>病理細胞検査学は、病気の最終診断、治療方針の決定、患者予後推定などに関わる分野である。種々の病態での形態変化、病態解析のための検査方法を理解し、正確な組織診断、細胞診断がなされるための検査知識を修得する。また、細胞診検査法において、正常細胞と悪性細胞の形態的特徴を理解する。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・免疫組織化学染色法について理解できる。 ・電子顕微鏡標本作製について理解できる。 ・細胞診検査法の意義と標本作製法について理解できる。 ・細胞診検査において、正常細胞と悪性細胞の鑑別ができる。 ・死体解剖において、臨床検査技師としての職責を理解できる。 					
実務経験のある教員					
星野ちなみ：病院での臨床経験を踏まえ、病理学的検査方法の標本作製方法、染色の方法について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-3	<u>組織診検査法</u>				星野 ちなみ ※
4	免疫組織化学染色法、病理遺伝子解析の意義				
4	電子顕微鏡標本作製法：透過型電子顕微鏡、走査型電子顕微鏡				
5	<u>細胞診検査法</u>				
6	細胞学的検査法：意義、概要				
7	検体採取法、検体処理法				
7	固定法(湿潤固定法、乾燥固定法)、				
8	染色法(Papanicolaou 染色、Giemsa 染色、PAS 反応)				
8	スクリーニングの実際：正常細胞の基本形態、悪性細胞の特徴				
9-10	婦人科の細胞診				
11	呼吸器の細胞診				
12	体腔液、脳脊髄液の細胞診				
13	乳腺の細胞診				
14	甲状腺の細胞診				
15	<u>死体解剖について</u>				
15	目的、手続き、介助、死体解剖保存法				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や配付資料により予習と復習をすると理解が深まる。 ・講義は教科書及び配付資料をもとに実施し、適宜、視聴覚教材を用いて講義する。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・月曜試験を実施する。 ・遅刻や欠席等で月曜試験を受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・定期試験(70%)及び月曜試験(30%)により評価する。 ・再試験は月曜試験の内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>[教科書] 臨床検査学講座 病理学／病理検査学 松原 修 他 医歯薬出版株式会社</p> <p>[資料] 配付資料</p>					